

単位数	3単位	学科・学年・学級	普通科 2年1組～8組
教科書	「歴史総合 近代から現代へ」山川出版社	副教材等	

1 学習の到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

2 学習の計画

学期	月	単元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等
第1学期	4	・諸地域世界の形成 ・歴史の扉 ・近代化への問い	アジア各地域 ヨーロッパ	①農耕民と狩猟、遊牧民の関係について理解する。②東南アジア世界が、南・志賀市アジア世界から受けた影響を理解する。③オリエント地方で農耕が発達し、治水灌漑のために強力な王権が生まれたことを理解する。④古代地中海世界が、オリエント文明の影響を受けて形成されたことを理解する。	行動観察 ワークシート
	5		アジア諸地域の繁栄と日本ヨーロッパにおける主権国家体制の形成とヨーロッパ人の海外進出	①16世紀にはアジア各地で大帝国が成立し繁栄していたことなどを理解する。②産業革命からの流れを理解し、ヨーロッパの発展とアメリカからの影響などについて理解する。	小テスト レポート 中間考査
	6	・結びつく世界 ・近代ヨーロッパ、アメリカ世界の成立	19世紀のヨーロッパ 19世紀のアメリカ大陸	①ウィーン会議の内容とウィーン体制の特徴を理解する。②この時代の国際的諸運動の進展などを理解する ①独立への経緯を理解する。②黒人差別が解消されなかった構造について考察する。	
	7	・明治維新と日本の立憲体制	西アジアの変容と南アジア・東南アジアの植民地化 中国の開港と日本の開国 明治維新と諸改革	①東方問題についてその概要を理解する。②ヨーロッパ列強による東南アジア植民地化の全容を把握し、その過程について理解する。 ①中国が半植民地化されていく過程を理解する。②開国に際しての江戸幕府の対応などについて理解する。 ①明治新政府の成立への背景や過程などを理解する。 ②大日本帝国憲法のもとの日本の動きを理解する。 ③欧米諸国との外交関係に留意しながら、日本が欧米の新技术の導入をどのように進めたかを理解する。	期末考査
第2学期	9		条約改正と日清戦争 日本の産業革命と教育の復興 帝国主義と列強の展開 世界分割と列強の対立 日露戦争その影響 第一次世界大戦とロシア革命 国際平和条約と安全保障 アジアアフリカの民族運動 大衆消費社会と市民生活の変容	①日清戦争後の国内政治について、政府と政党の動きに注目しながら特徴を理解する。 ②日本の産業革命の展開や、その中で政府が果たした役割などを理解する。 ③スエズ運河やパナマ運河が開通して、世界の一体化が急速に進化した過程を考察する。 ④ドイツとイギリスの対立を軸として、国際的に複雑な同盟、協商関係が形成された過程を理解する。 ⑤日露戦争後国際関係の変化に留意して、日本が韓国植民地化と満州支配を進めた経緯を理解する。 ⑥ロシアの内戦と日本のシベリア出兵の意図を理解する。 ⑦第一次世界大戦後に民族運動が活発になった要因を理解し、その影響について考察する。 ⑧日本の大衆文化と消費文化を整理し、それらの文化が人々の生活に及ぼした影響を理解する。	行動観察 ワークシート 小テスト レポート
	10	・帝国主義の展開とアジア ・第一次世界大戦と大衆社会 ・社会、労働運動の進展と大衆の政治参加			中間考査

学期	月	单元名	学習項目	学習内容や学習活動	評価の材料等	
第2学期	11	・戦後の国際秩序と日本の改革	新たな国際秩序と冷戦の始まり アジア諸地域の独立 占領下の日本と植民地化 占領政策の転換と日本の独立	①冷戦について、資本主義陣営と社会主義陣営に分かれた経緯を理解し、米ソが二大国となったことを理解する。 ②東、南アジアの独立について各国別に理解し考察する。 ③連合国による日本占領の方法や特徴について理解する。 ④占領期の世相や文化について理解し、それらが国民にとってどのような意味をもったかについて考察する。	行動観察 ワークシート 小テスト レポート	
	12				期末考査	
第3学期	1	・冷戦と世界経済 ・グローバル化する世界 ・現代の課題	集団防衛体制と核開発 米ソ両大国と平和共存 西ヨーロッパの経済復興 第三世界の連系と試練 冷戦構造のゆらぎ 世界経済の転換 アジア諸地域の経済発展と市場開放	①核開発競争の過熱化を理解し、原子力発電との関係性を理解する。 ②ソ連の雪解けと西側への影響を理解する。 ③アメリカの主導権から脱却しようとする西ヨーロッパの動きを理解する。 ④国際社会で第三世界が形成された背景と、その活動を理解する。 ⑤経済摩擦を解消するための政策などを理解する。	行動観察 ワークシート 小テスト	
	2				①ソ連のアフガニスタン侵攻により再び東西の緊張が高まっていく経緯を理解する。 ②冷戦後の世界における国際情勢の変化を認識し、地域統合等の流れを理解する。 ③21世紀に入ってからの日本の政治における変化を考察する。 ④現代日本の課題を考察し、対応などについて多面的多角的に考察する。	レポート
	3					学年末考査

3 評価の観点

知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よいよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

4 評価の方法

知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度の3観点から総合的に評価する。

5 担当者からのメッセージ (確かな学力を身につけるためのアドバイス、授業を受けるにあたって守ってほしい事項など)

<ul style="list-style-type: none"> ○現在の世界の出来事がわかるように、テレビや新聞などのニュースに注目しましょう。 ○板書以外の説明などもプリントなどに書き込むと、あとからも思い出しやすくなります。 ○チャイム着席を守り、教科書・資料集・配布物をまとめるファイルを用意する。 ○提出物は期限内に必ず提出する。
--